



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 7. 19

3, 4年生用 No.30

企業見学一部に集中気味



先日夏休み中の企業見学申込書を出してもらいましたが、一部の企業に集中気味です。このままでは夏休み明けの校内選考において多くの人が、校内でつぶし合いとなり不合格者が多く出てしまいそうです。

今年は昨年にもまして求人数が少なく、皆さんが選択に困っている現実を理解できますが、少しでも一次試験の合格者を高めるためには、出来るだけ幅広く受験企業を広げる必要があります。原則として見学しなかった企業を受験することは出来ませんので、23日の締め切りまでにまだ他の人が希望していない企業にも目を向け、再度企業見学の企業を検討してみてください。

1社に本校から複数の生徒が受験すると、不合格者をそれだけ多く出すこととなります。皆さんが希望するところをそのまま受験させることは、一見皆さんのためになるように見えるかもしれませんが、戦略として皆さんのためになりません。戦略なき戦いには勝利は望めません。**少しでも一次試験で合格者を出すためには、もっと分散して受験することが必要**です。第一報の冊子だけでなく、その後の求人にも目を向け大至急検討して23日(月)までに希望を出して下さい。



大手企業にこだわらない

皆さんから出された希望を見ると、大手企業にこだわりすぎているようにも感じます。あまり名前の知らない企業に希望が出にくいのも確かです。寄らば大樹の陰ということで、最初は名前を聞いたことのある企業を選びがちであり、大手企業は多くの人が集中しがちです。結果として競争が激しくなり最後は他校の生徒との競争に勝てるか否かということになります。

昨年も上位の生徒が大手企業を受験し、不合格になる例が少なからず見られました。逆に中小企業を受験した生徒の方が早々と合格していました。

小さな企業でも今回の求人を出している企業の中にもしっかりとした企業は沢山あります。皆さんの多くはその中身をほとんど知らないだけです。大手企業の方がかえって生産拠点を海外に移し地方から撤退する可能性もあり、大手だから安心という時代ではありません。

規模はそれほど大きくないが、地元でこんなすごい企業があるのかと感心させられる企業がいくつかあります。私も進路の係をして4年目ですが、いまだこの地域の一部の企業のことしか分かりませんが、問い合わせてもらえれば多少は私なりの感想は言えます。

会社の規模や名前にこだわらず、企業見学をしその真価を自分の目で確かめてください。ただし、皆さんは単なる傍観者では済みません。そこに入ればそれなりの働きが求められます。その会社にどれだけ貢献できるかが問われることを自覚なくてはなりません。もっとも最初からそんなに難しいことは出来なくとも、やる気さえあれば何とか戦力になれるでしょう。特に普通科の生徒にとって色々な機械のオペレーションには戸惑いを感じるかもしれません。しかし多くの先輩がそうであったように、慣れれば何とかなるものです。

たとえ曲がりくねった歩みでも、迷いどおしの足取りでも、歩きつづけることに意味がある。
希望とは目的地ではなく、歩くことそのものの中にあるのだ。
先は長い。休んでも、歩くのをやめるわけにはいかない。
(希望の地図、重松清)